

令和3年度シラバス (教科・科目：芸術・書道Ⅰ)

68 新潟県立高田南城高等学校

定時制課程	単位数	必履修・選択
午前部	2	必履修

教科書	学習書・他教材
『書Ⅰ』(教育図書)	なし

学 習 目 標
書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

学 習 計 画		
学習項目	学 習 内 容	試験範囲 (学習期間)
○書へのいざない (1) ○漢字の書の世界 (1) ・楷書の古典 (15)	・書写から書道へ、姿勢・執筆法、書体の変遷 ・楷書の古典と臨書、楷書の特徴と書風 ・『孔子廟堂碑』『九成宮醴泉銘』『雁塔聖教序』『顔氏家廟碑』『牛橛造像記』『鄭義下碑』の臨書と鑑賞 ・楷書倣書と鑑賞	(前期中間)
・篆書 (2)	・篆書の特徴 『泰山刻石』の鑑賞と臨書	(前期期末)
○篆刻 (12) ○表装 (4) ・行書の古典 (13)	・姓名印 ・作品の裏打ち・パネル貼り ・行書の特徴 『集王聖教序』『蘭亭序』『風信帖』『争坐位文稿』の臨書と鑑賞	(後期中間)
○生活の中の書 (4)	・行書創作と鑑賞 ・実用書	
○仮名の書 (10)	・仮名の成立、単体と連綿、いろは歌、変体仮名 『蓬萊切』『高野切第三種』『高野切第一種』の鑑賞と臨書 ・仮名作品制作と鑑賞 ・漢字と仮名の調和	(後期期末)
○漢字仮名交じりの書 (8)	・作品制作と鑑賞	

70 時間(50 分授業)

評 価 規 準 と 評 価 方 法			
評価は、次の4観点から行う。			
書への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	書よさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、効果的な表現の技能を身に付け表している。	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書よさや美しさを創造的に味わっている。
総合的評価規準 以上の観点を踏まえ、授業の取組み(出欠席、遅刻の状況)、課題の提出状況等から評価します。			

授 業 の 進 め 方 、 課 題 ・ 提 出 物 な ど
<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査は実施しません。 ・毎時間の課題作品の提出がありますので積極的に参加する姿勢を求めます。 ・用具の準備・片付け等も含めて学習活動になりますので遅刻厳禁です。

担 当 者 か ら の メ ッ セ ー ジ
小中学校までの国語科「書写」から発展し、高校では芸術科「書道」が始まります。書道の学習においては、よく見ること・考えることが大切です。技法の習得には自分の解決すべき課題を見極めながら練習を重ねます。書を通した自己表現を目指します。